

2024年 5月

**AVID FLEX**

アビッド・フレックス株式会社

## Pack# Ver 13.5 リリースノート

### ・動作環境

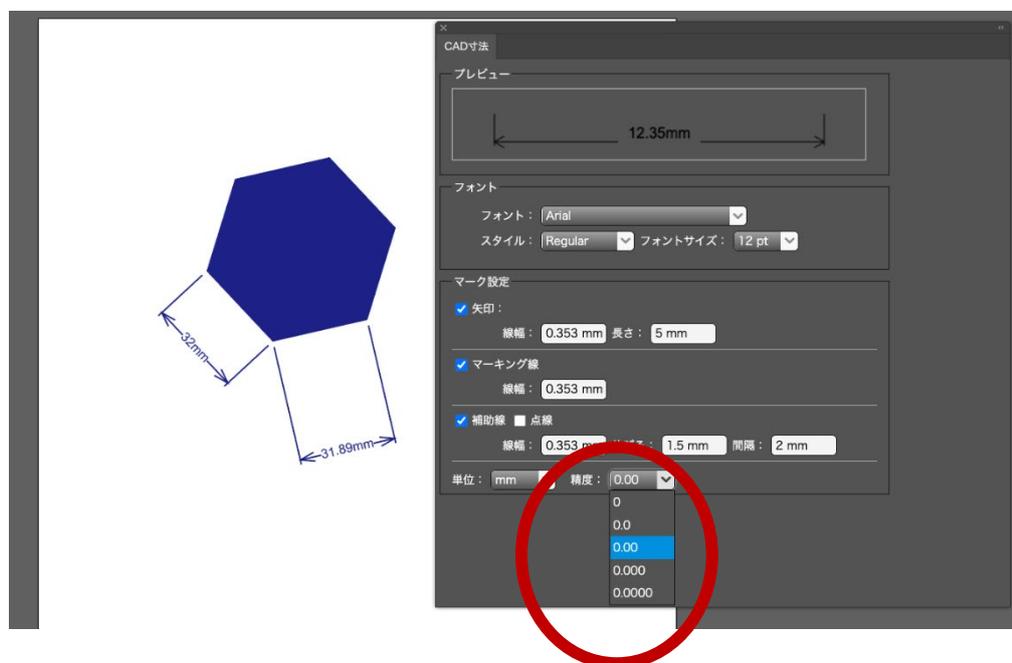
Illustrator 2019・2020・2021・2022・2023・2024

Mac-OS 10.13 High Sierra ~ 14 Sonoma

Windows 10/11

### ・ツール#

【追加機能】 小数点以下の設定が可能になりました。



「CAD 任意点マーキング」に小数点以下の表示をコントロールし四捨五入で表示する『精度』の項目が加われました。

・インク#

【新機能】 インク使用量計算レポートに、カレントドキュメントのサイズとして、『統計エリアの幅と高さの値』を追加しました。

インク使用量計算情報：

ファイル名： 名称未設定-3  
エクスポート時間： 2024-04-15--15:16:56  
統計エリア： アートボード  
統計エリアの幅と高さの値： 1030\*790

単位： mm  
解像度： 72  
総面積： 813700.153

色版情報：

| 色版 | 面積       | パーセンテージ | インクタイプ |
|----|----------|---------|--------|
| M  | 1766.769 | 0.217%  | 普通インク  |
| Y  | 1666.908 | 0.205%  | 普通インク  |

・インク#

【新機能】 インク使用量計算レポートに、『カットラインの全長をエクスポート』の項目を追加しました。

インク使用量計算

統計エリア:  解像度:  ppi

CADインクを無視  透明インクを無視

カットラインの全長をエクスポート

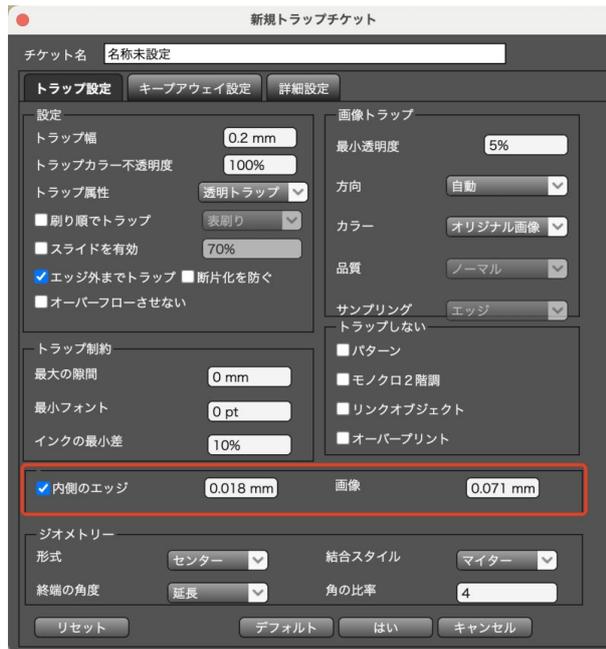
| No. | インク名 | 面積(mm <sup>2</sup> ) | パーセンテージ |
|-----|------|----------------------|---------|
| 1   | M    | 1766.769             | 0.217   |
| 2   | Y    | 1666.908             | 0.205   |

総面積:813700.125mm<sup>2</sup>

インク使用量計算 エクスポート

## ・トラップ#

【新機能】『内側のエッジ』を追加しました。

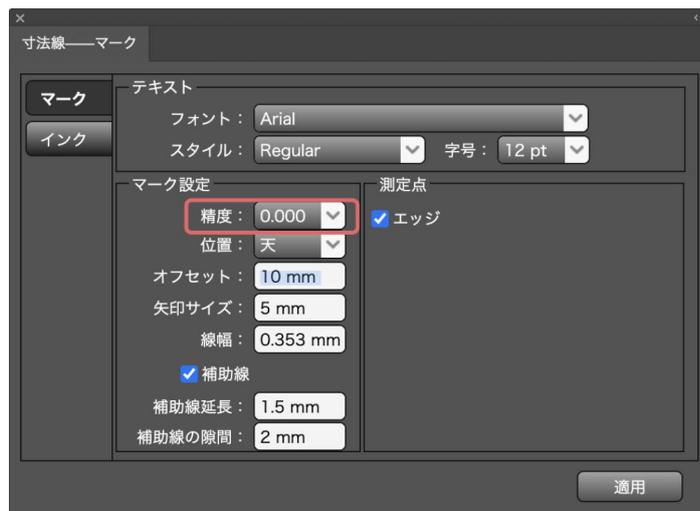


内側のエッジの数値を自由に設定できるようになることによって、特殊な図形や画像に対してもっと綺麗なトラップ効果を設定可能になりました。

例えばエッジがはっきりしないオブジェクトに対して、より優れた視覚的トラッピングの結果が得られます。

## ・マーク#

【追加機能】小数点以下の設定が可能になりました。



『精度』の設定により小数点以下の数値を表示させます。

例えば 0.000 と選択した場合 123.321 と表示、0.0 の選択では 123.3 と表示。

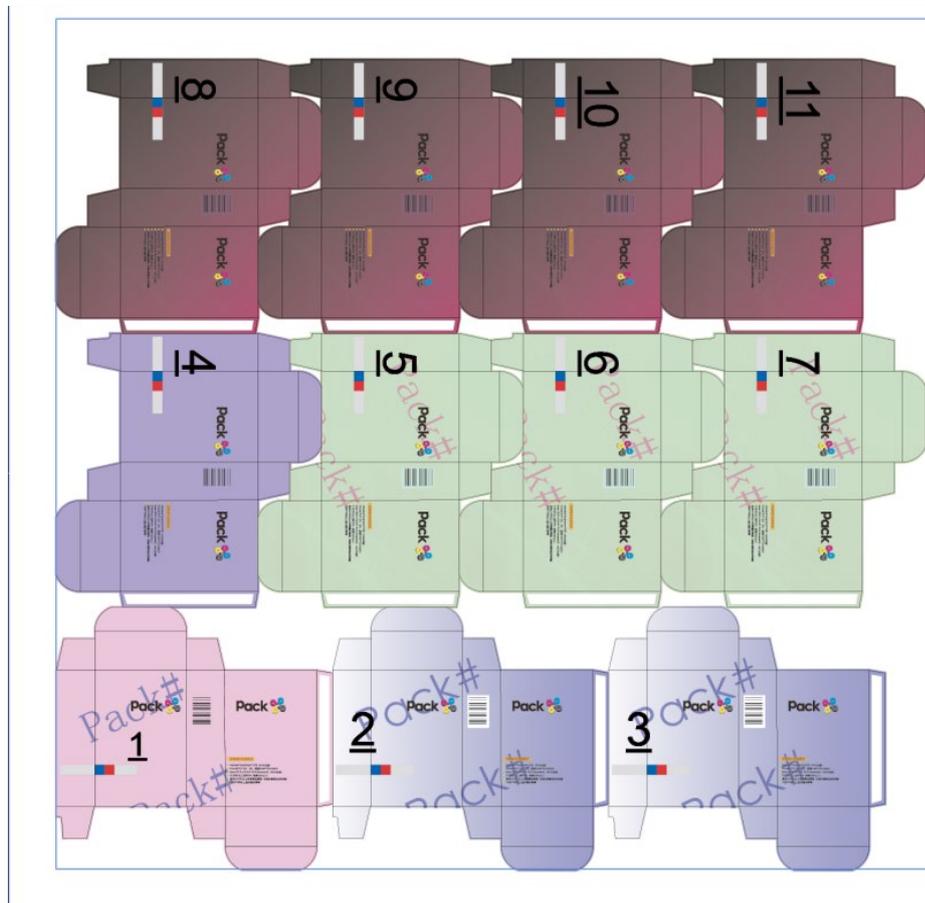
## ・その他の主な修正内容

- ・TIFF 出力後の結果がずれる問題を修正しました。
- ・一部の PDF ファイルをインポートの時に画像チャンネルが変わってしまう問題を修正しました。
- ・特定のデータによるトラップ効果の問題を修正しました。

《 以下は「有料オプション」ならびに「オプションモジュール」の機能になります 》

・スマート面付け【新機能】 有料オプション

スマート面付けネスティング方式により合理的且つ経済的にさせる目的で、  
水平・垂直・自由レイアウトに対して形状などの要素に従ったネスティング方式も  
選択できるようになりました。



・JDF 殖版書き出し(JDF 出力) 【新機能】 有料オプション

『互換性』と『メディア』の項目を追加し、標準 JDF、SCREEN EQUIOS の JDF 出力に対応。

メディアはプレートまたは用紙を選択可能。

JDF 内容をさらに改善し、JDF 適応性を向上させました。

JDF

JDF出力パス: /Users/packa-m1/Desk 浏览

JDFファイルの命名規則

プレフィックス 05 コネクタ \_  ファイル名を使用

JDFパラメータ

互換性 標準

メディア プレート

タイプ 絶対パス フォルダ名 oneup

PDFパス /Users/packa-m1/Desktop 浏览

テキスト列変換 /packa-m1/Des /wangliheng/JC

インク情報を含む

JDF出力

・VDP# 【追加機能】 オプションモジュールをご利用のかた

文字枠の中の一部テキストを可変にする機能を追加しました。

## ・PackFlow（自動製版処理ワークフローシステム）をご利用のかた

・フォルダ名の変更:Link → Links

注意点として全てのパラメータチケットは再作成する必要があります。

・ジョブ新規の時、画像 ZIP をアップロードする際の言語判断機能を追加しました。

・マークはバーコードの描画に対応しました。(ハイレベルカスタムマーク)

・マークのバウンディングボックスに自動フィット、マイナス入力が可能になりました。  
最終の結果ファイルは当該設定によって PDF アートボード枠を全てのマークのバウンディングボックス(外接矩形)に自動フィットするようになりました。

|  |                                   |      |                                   |
|--|-----------------------------------|------|-----------------------------------|
| 書き出し設定                                     | <b>アートボード適応設定</b>                 | 終了設定 |                                   |
| <input type="checkbox"/> 全マークオブジェクトフレームの適応 |                                   |      |                                   |
| 左:   | <input type="text" value="0 mm"/> | 天:   | <input type="text" value="0 mm"/> |
| 右:   | <input type="text" value="0 mm"/> | 地:   | <input type="text" value="0 mm"/> |

・マニュアル殖版モジュールの中のプレートとシートの高さ、幅は変数の数式に対応しました。

>> 変数入力に対応するコントロール項目は、マニュアル殖版モジュールの中のプレートと用紙の高さ、幅のみになります。

>> 下記の変数に対応しました(手動入力のみ)。全称も略称も入力可能です。

|                               |
|-------------------------------|
| CenterGapWidth [N] (CGW [N])  |
| CenterGapHeight [N] (CGH [N]) |
| OneupWidth (OW [N])           |
| OneupHeight (OH [N])          |
| Column (C [N])                |
| Row (R [N])                   |
| CutlineWidth (CW)             |
| CutlineHeight (WH)            |

>> 数式は四則演算に対応、単位付きの数字入力が可能です。  
単位を入力しない場合デフォルトが pt。

eg:  $CGW[1]*Column[1]$ .      $ow[1]*row[1] +3.5mm$